



国際ロータリー第 2840 地区 2024～2025 年度

MAEBASHI HIGASHI ROTARY CLUB

クラブ会報



会長 藤原 崇史 幹事 小山 京子 会報・公共イメージ委員長 宮崎 真一 編集者 宮崎 真一
 事務局／〒371-0847 前橋市大友町1丁目2番11号ロイヤルチェスター前橋内 TEL. 027-252-7907 FAX. 027-252-7926
 E-mail maebashi-higashi@rid2840.jp URL <http://www.rid2840.jp/maebashi-higashi> (10時～16時 休日 毎週火曜日)

2025年 3月 6日 (木) 第2218回 例会報告

点 鐘 藤原 崇史 会長
 国歌 斉唱 君が代
 ロータリーソング それでこそロータリー

会長の時間 藤原 崇史 会長



本日の会長の時間はいよいよ明日明後日開催のあすなろ祭について勉強していきたいと思っております。第37回あすなろ祭は、第37回ということなので実に37年間も継続して行っているイベントになります。あすなろ祭とは何か？ということでございますが、群馬県知的障害者福祉協会が行うイベントとなります。展示部門とステージ部門に分かれ、展示部門には障害者施設・事業所学習や創作活動を通して制作した絵画や書道・手工芸品、写真などを展示するそうです。ステージ部門では障害者が一生懸命に練習をした楽器演奏や合唱・ダンス・演劇をステージで発表するそうです。明日の金曜日は展示をメインに明後日の土曜日はステージ発表をメインに行うそうです。当クラブは後援という立場で1989年の第4回あすなろ祭から関わらせていただいております。2020年～2024年までの4年間はコロナ禍ということもあり後援を辞退した時期もありましたが、本年度、満を持して復帰ということで明日の10時～10時半に行う開会式・そして明後日土曜日のステージ発表後・11時半ごろでしょうか？前橋東ロータリークラブ賞を授賞するという大役を仰せつかっております。あすなろ祭は奉仕総合委員会がメインとなりますので、奉仕総合委員会の坂口委員長に行っていただく予定でございます。このあすなろ祭のリアル開催は実にコロナ禍以降、3年ぶりだそうです。コロナ禍では中止を余儀なくされ、コロナ明けもリアルではなくオンライン開催に留まるなど、大変なご苦勞を重ね、今年いよいよリアル開催復活という形になったそうです。コロナ禍による中止やオンライン開催の影響で参加団体も減少してしまったそうで、当クラブの先輩達がコロナ前に見てきたあすなろ祭とは規模が縮小されていることが予想されます。私は入会してすぐ幽霊会員、そして一生懸命にやりだした頃はコロナ禍ということで一度もあすなろ祭に行ったことがございませんが、生まれつきハンデキャップをもった方々が情熱をもって一生懸命に表現することに感動すること間違いなしと確信しております。ロータリークラブは健常者にも非健常者にも平等にひとつの社会に対して奉仕することがモットーでございます。ぜひ多くの会員の皆様にご参加をいただきまして、知的障害の皆さんとともに素晴らしい時間を共有したいと思います。因みに主催者団体の群馬県知的障害者福祉協会は、群馬県社会福祉総合センターに事務局をおき、知的障害に対する啓発事業や知的障害者に対する支援を行う団体でございます。来年度の川嶋年度のロータリー財団を使った寄贈はあすなろ祭に参加されている障害福祉事業者に決まっております。川嶋年度の理事メンバーにおかれましては特にご参加をいただきまして今から親交を深めておくとも良いかも知れません。土曜日は授賞式後に木曽路にてランチもご用意しておりますのでご参加いただく方は楽しみにしておいてください。本日の会長の時間は以上です。

2025/3/6

祝報告 若生 公晴 親睦副委員長



* 結婚祝 * 角田 有司(S.55.3.9) 高木 清成(H.4.3.28) 森田 五郎(H.16.3.30)

* 誕生祝 * 女屋 啓一(S.37.3.18) 柴崎 正(S.42.3.24) 山岸 睦(S.48.3.4)
田嶋 景姫(S.**.3.4) 飯村 光弘(S.53.3.29)



幹事報告 小山 京子 幹事



1)3月のロータリーレートは、1ドル150円となっております。

2)『ガバナー月信』3月号が届いております。テーブルの上に配布させていただきました、ご覧ください。

3)『ロータリーの友』3月号が届いております。BOXに入れさせていただいておりますのでご確認ください。

4)3月13日と20日は休会となります。

5)クラブ細則の改正について「名誉会員」の部分につきまして、改正前と改正後の内容が載っている用紙をBOXへ入れさせていただきましたのでご確認ください。

令和7年2月27日

前橋東ロータリークラブ細則の改正について

以下のとおり一部改正いたします。

【改正前】(現況報告書P.115)

第14条 会員選挙の方法

第7節 名誉会員

クラブは、標準ロータリークラブ定款に従い、理事会により推薦された名誉会員を選ぶことができる。

【改正後】

第14条 会員選挙の方法

第7節 名誉会員

クラブは、理事会の決定により、本クラブを退会した正会員が以下の要件を充たす場合、名誉会員に選ぶことができる。

- 1 長年に亘りクラブの発展に多大な貢献をし、クラブの誇りとなるような活動を行い、成果を上げたこと
- 2 特例として、国会議員、県知事、市長に選任された場合

出席報告

	会員数	休会者	出席者	欠席者	補填者	率
本 日	51(51)	0	24(4)	27		48.98%
前々回	51(51)	0	20(4)	31	20	81.63%

※特別会員A(補欠法人会員)出席者 0名 ・ 特別会員B 出席者 0名

2025/3/6

委員会報告

奉仕総合委員会 坂口 博樹 委員長



奉仕総合委員会の坂口です。今日は「あすなろ祭」について沢山ご案内させて戴く予定でしたが、会長がこれでもかというくらい細かく説明してくれましたので、話すことが無くなってしまいました。

念のため二つだけ。8日は例会扱いになること、駐車許可証は事務室にありますのでよろしくお願いします。

創立50周年記念事業実行委員会 大本 計馬 実行委員長



私は1月の理事会で50周年記念事業実行委員長を仰せつかりました。私のロータリーライフ34年で学んだ経験と知識を活かし、そして私の得意とする誠心誠意 一生懸命の精神で務める覚悟です。しかし私の能力はどんなに頑張っても大した事は無いと自覚しています。

ですので、私を支えてくれる副実行委員長を私よりも格段に能力と実行力に富んでいる石原保幸さんと藤原崇史さんのお二人にお願いする事と致しました。

「ロータリーにはNOは無い！」と言われていています。今後は全会員の皆様にも、石原・藤原両副実行委員長を通して何かとお願いすることになりますが、どうかこの言葉を肝に命じて快く受けて頂きご協力とご尽力を頂く様、深くお願いします。

そして、釘島50周年会長・丸橋幹事とも協力し合い50周年記念事業を大成功裡に終わらせたいと思います。どうか皆様よろしくお願いします。

ニコニコBOX報告 塩原 宏治 副委員長

(順不同)



藤原会長・小山幹事:本日もよろしくお願いします。

足立 進パストガバナー:佐藤さんの卓話楽しみにしています。

釘島伸博副会長:佐藤さんの卓話に感謝して！

内 山 均 さん:佐藤兼太さんの卓話に期待して。

大本 計馬 さん:佐藤兼太会員の卓話を楽しみにしています。

鈴木みづえさん:佐藤さんの卓話楽しみです。よろしくお願いします。

近藤日出夫さん:佐藤兼太さんのすばらしい心の入った国旗拝礼の姿を楽しみにしております。

田嶋 景 姫 さん:佐藤さんの卓話お楽しみです。

高 木 清 成 さん:沖縄ではお世話になりました。

佐 藤 兼 太 さん:本日も宜しくお願いいたします。

新入会員卓話

◆佐藤 兼太 会員



<挨拶>

初めましての方もいると思いますのでまず、初めに挨拶をしたいと思います。

佐藤兼太と申します。太陽光発電所の除草作業をメインに仕事をしています。

戸塚さんに紹介していただきロータリークラブに入ることが出来ました。

改めまして『戸塚さん、前橋東ロータリークラブに招待していただきありがとうございます』

戸塚さんには、お仕事をいただくだけではなく、常に気にかけていただいているので私もいつかは、他人を気遣える余裕と器を身に着けたいと思っています。

また、たまにしか来れないので本当に申し訳なく思っております。つきましては、妻を副会員にして私が出られない時は出席してもらう話になっていますが、私が極度の機械音痴のため、副会員の登録の仕方を忘れ、妻に怒られていますので何とか登録出来ればと思います。人前で話すのが非常に久しぶりで苦手なのでかなり緊張しています。

何を話すかかなり考えたのですがなかなか思いつかず、考えに考え2週間前に広島まで取引先と商談に家族と車で日帰りで行った時の、行き9時間である程度考えをまとめました。大したアイデアも思いつかず、家族に行きたいと言われて行った出雲大社から自宅までの帰りに携帯で11時間あるうちの3時間ほど聴いていたアドルフ・ヒトラーの演説と、トランプ演説を聞いたので何を言っているのか内容は、ほとんど意味不明でしたが人類史上最高のスピーチをヒントに独断的な佐藤節を話せるはずでした

2025/3/6

が・・・自分の中で完成したはずの記憶を出雲大社に奉納したらしく群馬に帰ってきて寝たらテスト勉強あるあるのように記憶のほとんどを喪失し、お土産に花粉症を持って帰って来ました。近々、錦戸クリニックに行かないと杉の木が身近にある環境なので花粉症で死にそうな今日此の頃です。

広島から山陰の山道で通った雪道のこと以外ほぼ全ての記憶がなく、おぼろげに商談の話より自衛隊の話と稲作の話をした記憶があります。また、除草時期と仲介が進んだらズームでと言われ、最初からズームで商談をすれば良かったという想いと、何故娘たちが食べたがった吉野家やサービスエリアの食事を選択してしまったのが解りません。広島に行ったら食べたかった広島風お好み焼きを食べそびれたという想いが強く残りました。末娘に厳島神社で船に乗れなかったと言われ更に疲れました。

<自己紹介と自衛隊>

生年月日 1984 年(昭和 59 年 4 月 19 日生まれ)東京都青梅市出身。

3人兄弟の長男として生まれる。

大学卒業まで青梅市で過ごし高校・大学也多摩で過ごし、自衛隊入隊で故郷を後にしました。

横田基地のすぐ目と鼻の先で、米軍が非常に身近な存在の地域で成長しました。

家族構成:妻と子ども3人(全て女)

高校・大学と体育会でテニス部に所属。体育会のため一切勉強をしていません。

小さい頃より身内に戦闘機の教官がいたので戦闘機のパイロットになるのが夢でしたが、視力が悪くなったのと大学3年時の大学のマラソン大会でトライアスロンのオリンピック代表と水泳の国体選手に勝って優勝した話を聞いた父の友人の勧めにより自衛隊に入隊。

新隊員では、数々の失敗をするも体力検定と新隊員教育隊の 3200m走大会で箱根駅伝に出た同期に負けるが 1500 人中2位になる。第一希望であった機甲科に一度は、内定するがレスリングで体育学校に内定していた同期がごねたので普通科へ。教育中隊長より佐藤は、体力があるから特殊作戦群や冬季戦術教育隊を目指すべきだと言われたのと新隊員教育の班長と仲が良く可愛がられていたので班長がいる部隊ならと普通科を了承。長野県松本市に所在する第13連隊松本で後期教育が行われる。松本で部隊が第13普通科連隊松本ならいいと思い普通科へ。

この時に騙され勝手にオプショで大臣直轄部隊である中央即応連隊の部隊立ち上げ要員となり、普通科に配置される。部隊立ち上げまで12旅団13連隊1中隊に所属。

スキーが好きだったのでスキーのワールドカップ支援の旗門員や、冬の間は毎日スキー訓練をし、土日も白馬に戻りスキーをしていたのでこの世の楽園と思っていましたが・・・

20年3月に中央即応連隊立ち上げに伴い悲しいかな楽園から追放され、上司・同期に見送られ立ち上げ間もない新設部隊であった中央即応連隊2中隊に涙の大移動。

自衛隊人生の大半を過ごす羽目になった中央即応連隊を簡単に説明したいと思います。中央即応連隊は海外へ派遣されることを目的に創設された陸上自衛隊唯一の部隊であり、在外邦人輸送・海外派遣先発任務・海外大規模災害時における緊急派遣や要人救助・警護・宿营地・重要施設・有事における方面増援を主任務としています。例外的に国内における災害派遣任務には、東日本大震災における原発放水や汚染地域の人員搜索を例外的に実施しています。

一般部隊と違い、射撃回数が非常に多く、一般部隊の隊員が年間 45 発しか撃たない隊員が多い中、自分達は 3000 発強以上の射撃訓練を実施。他の部隊と違い全ての装備が最新装備をあてがわれます。射撃の種類も多岐に渡り、射撃練度基準に基づいた練度管理により各種移動間射撃・武器変換射撃・プレコン射撃、各個～分隊・小隊レベルでの戦闘射撃を陸士レベルでも実施することが出来ます。また、国際法規に基づいて警告射撃等の各種事態に理論上対応できます。

また、幹部以外ほとんど実施しない拳銃射撃・特殊射撃・特殊訓練を実施しています。米軍や他の軍隊との交流も多く、特に米国海兵隊・空軍・陸軍と訓練したりすることもありました。

特に海兵隊と特殊作戦群からの影響が訓練にも反映されています。

私は、この様な部隊で自衛官に任官してからのほとんどの期間を各種入校と転勤以外は、中央即応連隊で過ごしました。陸士・陸曹から叩き上げで幹部になり、幹部になってからは、日中に部下と訓練をし、課業後に各射撃計画や各種訓練計画や練度判定を作成していました。

中央即応連隊の後、一時情報学校に転属し、語学教育(中国語)と戦術教育等を受けて部隊へまた戻りました。

その時に頻繁に米軍基地に出入りしていたので米軍の日系戦闘機パイロットから OODA ループ(観察・状況判断・意思決定・実行)を習ったり、陸軍や海兵隊から METTCI(任務・敵・天候・地形味方・時間・市民)や危険見積りを習いました。中央即応連隊では、幹部・陸曹・陸士までこの思考過程を大まかに

知っていますが一般部隊の隊員は、この思考過程をほとんど知らないので自衛隊に普及するにはまだまだ時間がかかると思います。

ただ、このような知識を幹部以外に与えると任務が非常にやりづらくなり、部下にとって気に食わない命令を下すと命令の根拠を求められたり、下手をすると部下につるし上げを喰らうこともあり、非常に厄介です。下手に言い訳等をする、とんでもない目にあうことが多く、事なかれ主義の私は、諸先輩方に逆らうという愚行をしたことはありません。入隊当時は、気の荒い武勇伝を持っている先輩も数多くいました。そのお方達が新入隊員として入隊した時に新隊員教育のメッカ横須賀武山駐屯地新入隊員として入隊した総長の激励に八王子から3,000機のバイクが激励しに来た話や、とある中隊長が毎日岩国の海兵隊員とけんかをしまくり警察に御厄介になり、少年院か自衛隊の2択を迫られ自衛隊になった話や、ヤク○の事務所にさらわれた後輩を助けるためにどっかの組員を全員病院送りにした経歴のある少しやんちゃな危ない先輩のお話を散々聞かされていたのでとにかくゴマすりをしまくりました。

訓練や宴会の進め方などの際には、先輩幹部・部下の小隊陸曹・各班長のご意見を仰ぎ、飯の数が多くの方が偉いという事を肝に銘じて仕事をしていました。全てにおいて失敗をしまくりましたが宴会時の宴会芸で心を掴み、運の悪い同期・後輩幹部の様に怪我で入院することなくゴチンとやられる程度で済みました。

上記のような諸先輩方からの温かく素晴らしい指導をいただき時には、ちょっとばかり叱られながら鍛え・可愛がられながら仲間の大切さを教えていただきました。かつての仲間との絆は、不滅で自衛隊を辞めた後でも連絡を頻繁に取り合う仲間も多くいます。

自衛隊にいた時は、『月月火水木金金』『365日24時間勤務を旨とする』『死んだら休める』『休みは自分で作れ』だったので有休を使った記憶は皆無で、仕事が遅いのと訓練や各個訓練に参加しすぎて自分の仕事が終わりませんでした。ヤバくなると先輩幹部や上司・部下が仕事を手伝ってくれたのもいい思い出です。訓練に参加しすぎて先輩達の仕事を手伝うどころか先輩や上司までもを道ずれにほとんど毎日残業と一緒にさせ、一緒に仲良く営門が閉まってから数時間してから帰って営門が空くころに登庁し仕事や体力錬成を数時間してから朝礼に出ていましたが、楽しい毎日だったような気がします。

幹部として一番成長できたのはAASAMと呼ばれるオーストラリア陸軍が実施する射撃大会で小銃部門で優勝した時の監督をしていた方が中隊長で赴任したときでした。この中隊長からは多くの事を学びました。技術・精神的なことを含めて熱心に指導してくれたので訓練計画にその教えを反映させることができました。また、大まかな訓練計画を作り実際に武器・装具全て搬出して射撃予行をして計画に無茶が無いことやエアガンによる予行を事前に組み込み訓練に反映させ、不具合が発生するたびに不具合箇所を修正していきました。この時に人を動かすには、事前予行をし、不具合を修正していくことがいかに大事かを思い知らされました。

結構楽しい自衛隊ライフを過ごしていましたが転属が多く子どものことを考え家庭の事情で涙の退職をし、一度民間企業(東京電力の下請け)で再就職をし、除草作業に必要な職長や超高压電気資格を取得し2024年4月に独立しました。

<即応予備自衛官等>

即応予備自衛官と予備自衛官の説明をしたいと思います。即応自衛官は、年間30日の訓練を指定日に民間で働きながら受ける制度で有事の際や災害時に緊急招集される制度です。予備自衛官は、年間5日程自衛官として部隊で訓練し、有事に召集されます。他国で言う予備役で、この即応予備自衛官・予備自衛官になると多少の補助金が支払われますがボランティアみたいなものです。

表上の理由は、昨年防衛省からの要望と個人営業主になったこともあり、空き時間に訓練に参加出来ればと思い予備自衛官に登録しました。実際は、退官時に即応予備自衛官及び予備自衛官任官の有無を聞かれたので「老兵は死なず、ただ消えゆくのみ」と解答したのもう、自衛隊で訓練することは二度とないと思っていました。辞退した最大の理由は、万が一原隊復帰した際に若かりし頃のように120kgを優に超える荷物を持ち、数日間不眠不休で山の尾根をひたすら走ったり歩き続け、おちょこいっぱいの水やパック飯半分の食事でも耐える事や、年に何回か防弾チョッキを含めた完全フル装備(40kg)で背嚢を背負い、重りで10人程度で250kgから300kgある丸太を持ちながらひたすら真夏に歩かされ、練度判定や各種射撃検定を合格する自信がなかったからです。知り合いに幹部枠で予備自衛官が足りないというので、相馬が原の一般部隊で訓練することを条件に訓練参加をすることにしました。予備自衛官は、あくまで訓練に参加するだけで幹部として指揮する必要のない訓練です。

昨年暮れに予備自衛官から即応予備自衛官に新たに任官しないかという話を貰い、参加可能な訓練のみの参加と訓練を全て相馬が原48普通科連隊本部管理中隊小隊長として受けるならやると回答し、

その様な手筈で調整されていると都合よく思っていました。

ここまで来たら全力で自分の出来ることを一つずつしていこうと決心し、まずは、自分の身体から鍛え始めました。自己錬成開始数日後に即応予備自衛官の担当者から衝撃の一言「一般部隊では、佐藤さん原隊等のような本格的な実践訓練は一切していないし能力も違うので、常駐隊員や部下の即応予備自衛官の練度がどんなに低くても怒らず我慢して、新兵を相手にするような寛大な心を持って欲しい」「くれぐれも空挺等がよくやる過度に身体的・肉体的負荷がかかる訓練を実施しない。原隊で実施していたあいさつ代わりの強烈な追い込みや反省をしないでください。それをやられたら一般部隊では、年齢に関係なく全員辞めてしまうので」と何回も釘を刺されましたが『俺は、今まで一度も怒鳴ったことも強烈な反省も部下・後輩にしたことないが・・・』『即応予備自衛官の仲間を仕事に誘おうと思っているのにそんなあほなことをするか』と思いましたがりあえず「解りました」との望む回答をしてあげました。

(1) 除草作業

繁忙期と言われる時期は、概ね4月～11月までで各太陽光発電所及び建設予定地の測量及び建設の為に除草作業を行っています。大抵は、12月～3月は、建設予定地の除草作業が主になります。また、建設用地獲得の為に現地調整にしている時もかなりの日数あります。現在の仕事の大半は、太陽光建設予定地の除草作業となっています。

~~~~~  
**『2024～2025年度 ニコニコBOX累計額』 522, 000 円**  
 ~~~~~

また、次回会報も、宜しくお願い致します。